



新しい授与品「ゆづ丸」が、あなたの願いを神様へ届けます

平成二十九年丁酉の新春を迎え、国運の隆昌ならびに皇室のご安泰はもとより、氏子崇敬者各位のご多幸のご発展を心より祈念申し上げます。昨年、世界の情勢をみれば、英国のEU離脱、米国ではトランプ大統領の誕生と、殆どの人が想像だにできなかった結果となりました。どちらも、事前調査

新年のご挨拶

宮司 澤田政泰



ゆづるは神社社報

発行所 弓弦羽神社社務所 〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目9-27 (旧地名: 弓弦羽ノ森) TEL 078(851)2800 FAX 078(851)2803 URL=http://www.yuzuruha-jinja.jp/ 印刷所 (株) マテックス 神戸市中央区筒井町2丁目1-38

月には一度は氏神様にお参りしましょう。新車は必ず交通安全祈禱にご参拝ください。

とは違った結果で、隠れ「離脱派」、隠れ「トランプ」と言われる人達が沢山いた様です。世間的には「皆で仲良く、弱者を助けて」と良い事を言っていますが、本音は「俺の生活が悪いのは○○のせいだ、そんな所とは縁を切つてやる」と言う事でしょうか、経済が右肩上がりの時とは違って勝組・負組と分かれて余裕を持ってない人が多いでしょう。「衣食足りて礼節を知る」という諺もありますが、欲深く「吾唯知足」とはなかなかいかなければ寂しい限りですし、日本でも、自分の事しか考えず全て他人のせいにするモンスターペアレントとかクレーマーと言う人が増えてきた事も憂うべき事です。貧しくとも礼節を重んじ、公の為に奉仕してきた日本人は何処に行ってしまったのでしょうか。戦後の日本の教育が間違っていたと考える人は私だけでは無い様です。詳しくは、今回からの河合先生の御寄稿をお読みいただければと思います。 さて、日本が世界に誇るべき物は沢山ありますが、皇室の存在はその最たる物です。御公務の合間を縫って被災地や地方で国民に親しくお声掛けをされている陛下のお姿は、報道される機会もあり皆様も御存知の事とは存じます。それは、常に「国安かれ民安かれ」と全て公の為に捧げられている御心によるものと拝察いたします。 利己的ではなく社会の為に祈る心、この大御心(陛下のお心)こそが日本を日本足らしめていると信じております。昨年の夏に陛下の「お言葉」がございました。この件は難しい問題ですが、陛下にはいつまでも「健勝でいていただければと祈つてやみません。

Grid of advertisements including: 高田屋 (KOME & SAKE), MAISON DECOR, 錦綾堂 夏原表具店, 御菓子司 常盤堂, 池尻石材工業, カラオケ喫茶・スナック Live, 御菓子司 常盤堂, 三洋航空サービス, 御菓子司 常盤堂, 菊正宗酒造株式会社.

日本と日本の教育を憂う

葦原神社 宮司 河合 鎮徳

全国教育関係神職協議会 会長
全国熊野会鳥取県支部長



はじめに

今年八月二十九・三十日と鳥根県松江市で全国熊野会を担当した河合鎮徳(かわい やすのり)と申します。現在わたしは神社本庁の六つある指定団体のひとつ、全国教育関係神職協議会(全教神協は略)の会長を拝命しています。今回の熊野会で「こんなに危険な教科書」というテーマで少しだけお話をさせて頂きました。本来は一時間の予定が諸般の事情により二十分間の端折った話となりました。しかし、弓弦羽神社の澤田宮司様から『ゆづる』に寄稿せよとの言葉を頂きました。

熊野会の会長に就任されました速玉大社の上野宮司様からも教育の問題は大切だとの指摘もあり『日本と日本の教育を憂う』と題して教育をいろんな角度から皆様と一緒に見つめていきたいと考えます。数回の連載となりますがお付き合いください。

日本民主党のパンフレットに『憂うべき教科書の問題』として文を綴ります。その五年後の昭和三十五年八月、日教組によって荒らされている教育現場から明日の日本を担う児童・生徒を救うべく全国神職兼務教職員協議会を神社本庁は設立したのでした。

自国を貶める教科書で学ぶ子供たち

昭和二十年八月十五日の敗戦はGHQによる物的武装解除だけでなく精神的武装解除までも余儀なくさせられました。日本人の心を象徴するような書物は焼き捨てられ(焚書)学校教育においては修身(現在の道徳に当たる)・国史・地理は教科から削除されました。さらにダメージが大きかったのは神道指令でした。国民の背骨であり精神的支えであった神道が一宗教にされてしまったのです。

昭和十六年十二月の開戦直後「この聖戦を大東亜戦争と呼称する」と閣議決定された意義深き名称を「太平洋戦争」と改称させられてしまいました。日本はアメリカとだけ戦った、もしくは、アメリカに戦争を吹っつけたような意味合いになってしまいました。『過ちは二度と繰り返しません』という言葉に象徴されるように、原爆投下は過ちではなく、日本人が戦争を始めた過ちだから投下は仕方ないことであるかのように日本人の意識構造を変えてることにGHQは成功したのです。

自国に誇りをもてない教科書はGHQの監視下のもと

教育の三要素について

音楽に三要素があるように教育にも三要素があります。教師(授業者)・教材(教科書)・学習者がそれです。もし教師に色が着いていたら授業を通じて学習者にも色が着くことになりそうです。教師に色が着いてなくても教材(教科書)に色が着いていたらこれらこれもまた学習者も色が着くことになります。

ここで考えたいのは教師・教材(教科書)についてです。教師や教材(教科書)に思想や主義主張などがあつたとしてたら学習者は一体どうなるのかということですが、

教員上がりの参議院議員の輿石東(こしいし あずま)氏が「教育に中立は無い」と言ったことは記憶に新しいことと思いますがこれは法令違反の言動であります。

憂うべき教科書と日本の教育に神社本庁は

「憂うべき教科書」・・・この問題は昭和三十年から指摘されてきました。敗戦によってGHQの言いなりになってしまった日本は左翼の闊歩する国になってしまいました。労働組合は雨後の筍のごとく各会社に組織され、公の機関である役所には自治労、国鉄には国労・動労、NHKは会長など一部を除きほとんどが労組。

教育界には日教組。戦後の反動で教育がおかしくなり、神社本庁は昭和二十九年に教育是正の研修会を開きました。その翌年の三十年、もと日教組書記長の石井一朝氏が

このようにして作られてきました。世界中どこを探してもおそらく『自国に誇りをもてない教科書』で教育がなされているのは日本だけだと思います。「なんだ、オレはこんなひどい国・悪い国に生まれてしまったんだ」と思わざるを得ない教科書で学んだとすれば成人式でのぶざまな格好や事件は起こってもおかしくありません。「自国に誇りをもてない」・・・どころが一貫して『自国を貶める記述』で書かれている教科書は、一体どんな人たちが、一体何のために書いているのでしょうか？

今回はそのあたりを探っていきたいと思えます。

河合 鎮徳

葦原神社 宮司 (64歳)
(鳥取県東伯郡琴浦町 鎮座)

現在「全国教育関係神職協議会」
(会員1500名)会長2期目を務める

【略歴】

- 昭和27年鳥取県の社家の長男として生まれる。
- 皇學館高校から皇學館大学に進む。
専攻は国史学(古代史)
- 卒業後、地元の山陰放送DJのあと教職に就く。
- その野球指導は“さだまさし”氏が作詞作曲した『吾亦紅』(われもこう)のモデルでもある。
- 鳥取県教育委員会事務局では5年間社会教育(生涯学習)を担当した。現在も“さだまさし”氏と親交が深く本年10月の鳥取地震の被災者を力づける為の11月26日に倉吉市で開催された「さだまさし被災地とっとりコンサート〜がんばれ鳥取中部〜」では実行委員長を務めた。

役員 退任のお知らせ
 平成二十八年十二月二日付
 (総代)
 中之町地区 濱田太郎 氏
 長年のお勤めありがとうございました

- 八日 神社庁神戸市支部東灘部会
例会 於：本住吉神社
宮司・職員出席
- 十一日 月釜(裏千家・伊藤宗和)
- 三十一日 年越「大祓」除夜祭



11月10日「トライやる・ウィーク」
 御影中学2年生(巫女姿3名)の753の奉仕
 参列は「御影インターナショナルこども園」の園児70名

- 十四日 御保岐祭
- 十五日 「とんど」
- 正月(飾り)古札御焚上
- 二十二日 祭礼打合せ 初会
- 二月 一日 月次祭
- 十二日 月釜(裏千家・渋谷宗雅)
- 二十六日 祈年祭



昨年の 新春吉例「寿」茶席

- 平成二十九年 上半期行事予定**
- 二月 一日 新春「番祈祷」
歳旦祭
吉例「鏡開」
 - 三日 元始祭
吉例「寿」茶席



昨年の 夏越「大祓」

- 三月 一日 月次祭
- 十二日 月釜(裏千家・政宗穂)
- 四月 一日 月次祭
- 二日 はなびらまつり
- 九日 月釜(裏千家・直井宗順)
- 五月 一日 月次祭
- 三日 春季大祭
- 四日 地車祭(地車宮人)
- 十四日 月釜(裏千家・高瀬宗益)
- 六月 一日 月次祭
- 十二日 月釜(裏千家・森本社中只業会)
- 三十日 夏越「大祓」

平成二十八年下半期日記抄

- 七月 一日 月次祭
- 十日 月釜(裏千家・北口宗静)
- 十二日 神社庁神戸市支部東灘部会
例会並びに先賢慰霊祭
於：本住吉神社 宮司・職員出席
- 十七日 夏祭 崇敬会大祭
参列四十三名
- 二十四日 責任役員会 決算等
- 二十八・二十九日 兵庫東神社庁神戸市支部
現任神職研修会
職員 参加
- 八月 一日 月次祭
- 八・九日 兵庫東神社庁教誨師研修会
富山刑務所・金沢尾山神社 等
宮司参加
- 二十三日 神社本庁教誨師研修会
於：京都 新都ホテル
宮司参加
- 二十八・二十九日 全国熊野会
於：松江 ホテル一畑
- 熊野大社(鳥根愚)出雲大社参拝
宮司参加
- 九月 一日 月次祭
- 九日 兵庫東神社関係者大会
於：淡路夢舞台 宮司参加



例祭 祭典御奉仕 (西御影地区)
 左 江原貴志 氏 右 森下貴浩 氏

- 六・七日 全国教誨師研修会
於：東京 京王プラザホテル
宮司出席
- 十月 一日 月次祭
- 十日 月釜(裏千家・燦燦会)
- 九日 月釜(上田宗箇流・関西和風会)
- 十日 兼務社(西平野) 殿島神社例祭
- 十月十五日 例祭
参列三十七名

- 十六日 西之町 富玉稲荷 例祭
- 二十八日 神社庁神戸市支部
先賢慰霊祭
神宮大麻・曆頒布始祭 総会
於：舞子ビラ
宮司・職員参列出席

- 十二月 一日 月次祭
- 九・十二日 御影中学校
「トライやる・ウィーク」受入
- 十八日 大阪矯正管区教誨師研修会
於：琵琶湖ホテル 宮司出席
- 十一月 一日 月次祭
- 三日 総代会
参加四十二名
- 六日 神戸拘留所教誨師研修会
於：生田神社会館 宮司出席
- 七日 神宮新穀感謝祭
於：伊勢(神宮) 職員参列
- 同日 神社庁神戸市支部
役員・顧問・参与懇親忘年会
於：生田神社 宮司出席



10月15日例祭 神楽奉奏

年を大切にしてきた日本人

日本人ほど『年』にこだわってきた民族はないでしょう。子どもが生まれれば初宮詣に行き、そして753詣、成人式を経て還暦や米寿などの長寿を祝う「年祝い」を行います。日本人にとって『年』は単なる時間の積み重ねではありません。人生は山あり谷あり様々な厄災が待ち構え、それを乗り越えてゆくことの難しさを私たちは日々の生活の中から学びます。だからこそ、日本人は日々の生活を大切にし、『年』を重ねるごとの喜びをかみしめ、神々に「生かされている」ことへの感謝の念を忘れませんでした。

「厄年」は陰陽道の説として大陸より伝えられ、平安時代には公家社会に広まり、武家社会を経て、民間へと流れていったと言われています。日本人の『年』へのこだわりがあったればこそ、厄祓いは全国的な広がりを見せたのでしょう。

平成29年度の厄年並びに年祝は下記の通りです(年齢は数え年です)。

弓弦羽神社では、元旦より「厄除」「年祝」の御祈禱は随時受け付けております。厄除祈願は、節分までにお受けになるのが良いでしょう。



平成29年度 厄年表(数え年)

男性		女性
平成5年生 25歳 酉(とり)	厄年	平成11年生 19歳 卯(うさぎ)
昭和52年生 41歳 巳(へび)	前厄	昭和61年生 32歳 寅(とら)
昭和51年生 42歳 辰(たつ)	大厄	昭和60年生 33歳 丑(うし)
昭和50年生 43歳 卯(うさぎ)	後厄	昭和59年生 34歳 子(ねずみ)
還暦 61歳 昭和32年生 酉(とり)	厄年	昭和56年生 酉(とり) 37歳 昭和32年生 還暦 61歳

年祝	かぞえどし	生まれ年
還暦 <small>かんれき</small>	61歳	昭和32年生
古希 <small>こき</small>	70歳	昭和23年生
喜寿 <small>きじゅ</small>	77歳	昭和16年生
傘寿 <small>さんじゅ</small>	80歳	昭和13年生
米寿 <small>まいじゅ</small>	88歳	昭和 5年生
卒寿 <small>そつじゅ</small>	90歳	昭和 3年生
白寿 <small>はくじゅ</small>	99歳	大正 8年生
上寿 <small>じょうじゅ</small>	100歳	大正 7年生

かぞえどし 数年 生まれた時を1歳と数え、正月がくれば1歳を加える(歳神様から歳をいただく)数え方です。お誕生日迄は満年齢に2歳を、誕生日以後は1歳を加えると数年となります。

平成二十八年度 下期 祭礼等奉賛者御芳名

崇敬会大祭・例祭など、例年特別の玉串料並びに御供品が数多く奉獻せられ、御神徳を景仰される方々によって、逐年、神威の高揚と社頭の隆昌とを仰ぎますことは、御同慶にたえません。ここに御篤志の方々の芳名を録し、厚く感謝の意を表します。

七月十七日 崇敬会大祭
【玉串料】
東町区自治会
中御影地車保存会
御影本町五六会自治会
安達秀則・文子・正時
大江 明 仁
酒井 徹
藤原 英 次
池田 中
田中 房
夏原 次
平澤 福
藤原 裕
高橋 宏
竹中 義
山本 宏
森下 健
和田 久
山利 重

安達 隆
鍵田 武志
坂本 義人
島田 智祐
濱田 司
【献酒】
御影西町地区自治会
【献品】
缶ビール一箱 保元孝彦
十月十五日 例祭
【幣帛料】
神社 本庁
【玉串料】
兵庫東神社庁
神戸市支部
村山美知子

香雪美術館
中御影地車保存会
御影弓場自治会
西御影協和会
上御影親和会
御影本町五六会自治会
東町区自治会
御影西町地区自治会
藤原 俊彦
安井 社
芦屋 英
池田 栄
田中 栄
竹中 雅
谷田 雅
夏原 房次
平山 正
盛原 正
高一橋 裕
高橋 義
田中 義
廣瀬 和
廣田 和
山本 久
山森 久
山田 史
李御影西町地区自治会
花子

御影インターナショナル ことも園
月次祭
荒野商事 井
奥野節 代
國廣和 子
小前和 代
高幼幼稚園理事長
竹中 宏
田中 英
田嶋 英
西村 雄
野村 雄
藤原 久
山根 雄
松尾 義
北口 宗
上月 宗
望月 宗
吉田 宗
山田 宗
伊藤 宗
いわた えん
特別御奉納
遥拝所 玉垣
責任役員 藤原 久

とんどのお願い

当社では、一月十五日に、正月のべ飾りや古札のお焼上げをしております。環境問題並びに、後片付けの負担もござりますので、左記の様にさせていただきます。何卒、御協力下さいますようお願い申し上げます。



- 【記】
一、日時 一月十五日(日)
午前七時〜午後四時
(成人の日では有りません)
一、お焚き上げ出来るもの
正月のべ飾り(橙は外して下さい)
神札・御守・破魔矢等
※ 袋・包紙等はお持ちかえり下さい
一、出来ないもの
鏡餅等のお供え(燃えませんが)
書き初め・葉書・手紙・祝儀袋
(燃えた紙が舞い上がり危険です)
※ 時間外のお預かりはいたしません。
又、受け付け出来ない物はお持ち帰りいただきます。